

## 家賃は一番のムダ使い

最近、シングル女性のマンション購入が増えています。小島ひろ美さんは、会員4万人余を抱える「女性のための快適住まいづくり研究会」の代表として、女性の立場に立ったマンションの企画や購入のアドバイスなどを行っています。

物件選びのキーポイントは、「まずロケーション。都心で複数の路線が乗り入れている駅から8分以内。次に、できれば新築。耐震偽造問題以降の物件は設計・建設性能評価書を取得するケースが多く、最近では女性の生活導線にも配慮した間取りや管理セキュリティ、設備仕様の物件が増えている。こうした物件は資産価値も高い」と指摘。といっても「資金計画は決して無理をしないこと。頭金も2割以上あるのがベター。また、投資・賃貸仕様のワンルームは品質が劣るので手を出さない」ことが肝心とか。

そんな小島さんのお金の哲学は、「家賃を払わないこと。家賃が一番のムダ使いで、それよりマンションを購入し、ローン返済をマンション貯金と考えると資産づくりに。余裕資金は繰上返済に」だそうです。



## プロフィール

小島ひろ美（こじま・ひろみ）、福岡県出身49歳、関西学院大学卒。ライフスタイル・コーディネーター、宅地建物取引主任者。

不動産会社、専門学校講師を経て91年「女性のための快適住まいづくり研究会」を設立。「女性のためのかしこいマンション購入術講座」で、今までに4万人以上の女性たちに講演を行い、幅広い年代の女性のマンション購入に関する相談に応じているほか、女性の住まいとライフスタイルの専門家として、マンションの企画提案やコンサルティング、テレビ、雑誌などのマスメディアにも数多く登場。

著書に「元気になる！ 幸せマンション購入術」（アスコム）、「女性のためのマンション購入術」（筑摩書房）など。

<http://www.kaiteki.gr.jp/>

◆女性のための快適住まいづくり研究会・代表  
小島ひろ美さん